

## 標茶町議会第2回定例会

一般質問通告一覧

平成29年6月1日

No. 1

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
4番	深見迪	1. 北海道の保育料制度独自拡充を機に保育料の更なる軽減を	<p>国は平成28年度に「上の子の在園という条件を撤廃し、年収360万円以下に限り第3子の無料化」を実施した。これを背景にし、また多くの保護者や保育士の署名活動、要請運動が実り、北海道は平成29年度から条件付きではあるが保育料の第2子の無料化を実施することになった。本町も北海道の制度拡充に合わせて本年度からの保育料軽減の実施を行った。このことは、町が実施した本町の子ども子育て支援制度のアンケートで、多くの方から「保育料が高い、もっと安くしてほしい」との回答が寄せられていたことから、歓迎すべきことである。ただ、年収640万円以下という所得制限や3歳未満児という年齢制限があり、3歳児クラスになった時点で対象外になるという点で十分とは言えない。働く親の支援と子育てを地域社会全体で支援する環境づくりのためにも次の3点について町長の所見を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所得制限の撤廃をするべきと考えるがどうか。</li> <li>・3歳児未満に限るという年齢制限を無くするべきと考えるがどうか。</li> <li>・保育料負担金（保育料による収入）は、本年度の予算で、一時保育、延長保育を除けば全体で4,600万円ほどであるが、将来的に保育料の無料化を視野に入れ、当面第1子の保育料を半額にすべきと考えるがどうか。</li> </ul>	町長	
		2. 小学校及び中学校に「ことばの教室」開設を	<p>「ことばの教室」は、文部科学省の特別支援教育プログラムの一環として行われる言語障害特別支援学級の通称であるが、特別支援学級の児童生徒の多くは言語に障がいを持っている、いわゆる重複障害の子がいるのが現状である。このような言語指導が必要と思われる人数、状況について小学校、中学校に分けて伺う。</p>	教育長 町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在「ことばの教室」を開設している学校は全道で200クラスと聞いているがこのとおりか。</li> <li>・ 国の基準では、言語指導が必要な子が13人以上で一名の教師の加配ができることになっていると聞いているがそのとおりか。また、北海道では、学校から教育委員会に要請すれば特別支援学級として設置できると聞いているがそのとおりか。</li> <li>・ 言語指導が必要な児童生徒については、普通学級あるいは他の特別支援学級から一定の時間通い、言葉の指導を受けることができる場、「ことばの教室」を設置し「ことばの通級指導」を受けることができることが必要であると考えがどうか。</li> </ul>		
		<p>3. 国保会計に対する法定外繰入の解消を行わず、国保税の値上げを行わないこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本年2月の道議会で、「法定外繰入廃止の補てんのための保険料値上げはすべきではない。法定外繰入は市町村の裁量ではないのか」との質問に対し、道は、「法定外繰入は市町村の判断で行われるもの」と答弁している。「法定外繰入」は今でも高すぎる国保税に対して、町が住民福祉、生活を守るためやむを得ずとってきた住民の立場に立った優れた施策ではないのか、町長の所見を伺う。</li> <li>・ 国民健康保険法では、国保事業の運営責任者は市町村とされ、財政運営も含めて、事業主体とされている。道が法定外繰入の解消に向けた取り組みと言いつつ、法定外繰入は「市町村の判断」「禁止できない」と言わざるを得ないのは、この法律があるからであると考えが所見を伺う。</li> <li>・ 国民健康保険事業の広域化により、低所得世帯ほど税が重くのしかかってくるのは明らかであり、そのもとで、住民と身近に接する本町が今までどおり一般会計からの法定外繰入をし、負担軽減を行い、住民の福祉とくらしを守るべきと考えがどうか。</li> </ul>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
8番	渡邊定之	1. 基幹産業酪農近代化にふさわしい農道整備の充実を	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作業機械の大型化とコントラクターを利用する農家の増加に伴い、農道での交差が困難な状況が多く見受けられる。対策として退避場の設置、取り付け道路の改修、交差点の拡幅等の整備を行ってはどうか。</li> <li>・また、のり面の崩落など近年の集中豪雨により町道の傷みも多い。グレーダーなどでの修復だけでは限界がある。点検をし、町道の強度化などの対策を講じるべきであると考えているがどうか。</li> <li>・旅行シーズンと農繁期が重なり、ツーリング旅行者と農業者との不慮の事故が過去にはあり、離農に追い込まれる事態もあった。ツーリング旅行者との事故について、町は実態をどのように把握しているか。</li> <li>・このような事故防止と安全、安心な農作業を保障するためにも、看板の設置や注意喚起の方策を講じてはどうか。</li> </ul>	町長	
		2. 生涯学習アドバイザーの確保及び役割について現状と見通しを聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり推進運動の重要な役割を果たしてきた生涯学習アドバイザーの確保について、現状はどうなっているか。保健福祉課が取り組む事業との関係においてもアドバイザーの役割は一層重要になってくると考えるがどうか。また、十分な人員確保、要請などの見通しをどのように持っているか。</li> <li>・健康づくり推進運動の分野では、今、取り組まれている活動を地域に根付かせるためにも、専任のアドバイザーが必要と考えるがどうか。</li> <li>・平成16年度から、町を上げて取り組んできた健康づくり推進運動事業の要としてのアドバイザーの仕事は大きかったと思うが、アドバイザーの仕事が健康づくり指導中心にならざるを得ない状況であったと考える。標茶町生涯学習アドバイザー設置規則と照らして、今後どのように考えているのか伺う。</li> </ul>	町長 教育長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
5番	黒沼俊幸	食肉加工センター建設の見通しは	<p>3月の定例会で食肉加工センターの建設場所が虹別の離農跡地に予定されているとの話しがされた。その後、交渉が進んでいるというが西別川関係の漁業者との話し合いの内容を伺いたい。</p> <p>また、今後の見通しはどうかについても合わせて伺いたい。</p>	町長	
1番	櫻井一隆	(株)標茶町観光開発公社への町監査委員による監査請求について	<p>指定管理者の選定を受けて、憩の家かや沼の経営をされている。(株)標茶町観光開発公社の経営に対して、昨年9月の全員協議会で第38期決算書等についていろいろな問題が指摘をされ現在も協議が続いているので以下について質問する。</p> <p>(1)中でも第三者の手による監査の必要性は平成29年5月29日の全員協議会でも話された「朝礼暮改」を繰り返すことを避けるためにも再度確認する。町監査委員に対して地方自治法第199条第7項の規定に基づく監査を町監査委員に要請して頂きたいと思うが町長の考えを伺いたい。</p> <p>(2)町が出している出資金、あるいは平成29年3月31日までの期限で町条例により貸付けた1,000万円の未納が発生するなど、とても正常な経営とは思えない。現在の経営状況と今後この会社をどう運営をするのか、また、貸付けた1,000万円はいつ頃の返済の見通しになるのか、新聞報道によると町条例により貸付けた1,000万円の支払いを先延ばししたとの報道があったと聞くが、引延しをする為の規約、条例が存在するのか町民に対し分かりやすく説明をすることが望ましいと思うが町長の考えを伺いたい。</p> <p>(3)経営責任は観光開発公社社長にあるが、金銭的に不安が生じたら資金は標茶町が出すのが第三セクターである。と5月29日の全員協議会で説明していたが間違いはないか説明を求める。</p> <p>(4)何故に取締役会は自ら金融機関に融資を求めないのか説明を求める。</p> <p>(5)観光開発公社は支配人選任に重きを置いているが、私は監査役は更に重要</p>	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める 者	答弁内容
			<p>と思うのだが、現在は1名欠員である。町長はこの現状をどの様に考えているか伺いたい。</p>		
9番	鈴木裕美	森林作業員就業条件整備事業について	<p>この事業は森林作業員、事業主、市町村、道が一定の掛金を負担し合い就労日数に応じて作業員へ奨励金を支給するものです。</p> <p>加入することができる要件には、事業主は中小企業退職金共済制度または、林業退職金共済制度に共済契約者であること、作業員は被共済者であること、助成対象期間開始時点11月1日で満65歳未満であること等々があげられています。</p> <p>しかし、事業主の経営状態等で退職金共済制度にも加入できないでいることもあり、作業員にとっては、せっきくの制度が受けられていない実態があります。林業労働者担い手対策として、ぜひ事業主、作業員負担分を町が負担をしてはと考えますが如何か。</p> <p>また、助成対象年齢の引き上げを道に求める考えはないか伺う。</p> <p>さらに中小企業に林業退職金共済制度の周知をするべきと考えるが如何か。</p>	町長	